

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

| | | | |
|-------------|--|----------------------------|------|
| ■事業の担当課 | 企画部総務課 | ■担当係 | 統計係 |
| ■評価事業名称 | 北上市統計調査員協議会運営費補助金 | | |
| ■事業開始年度 | | | |
| ■評価事業コード | 010200 - 406 | ■会計区分 | 一般会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり | |
| | ■基本施策 | 05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築 | |
| | ■施策 | 01 効果的かつ効率的な行政経営の推進 | |
| ■事業の類型 | 06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | |
| ■法令等の名称 | | | |
| ■関連計画の名称 | | | |
| ■事業の目的と概要 | 北上市統計調査員協議会に対して運営費を補助することにより、会員の資質の向上を図り、もって統計調査の円滑な実施を図る。 | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 令和1年度事業計画 | 令和1年度事業量実績 |
|--------|-------------------|-------|--|---|
| 01 | 北上市統計調査員協議会運営費補助金 | 統計調査員 | 助金額100,000円協議会会員数260人(7支部)総会の開催(参加100人)役員と支部との研修会開催2回(飯豊、和賀支部) | 金額100,000円協議会会員数260人(7支部)総会の開催(参加90人)役員と支部との研修会開催1回(和賀支部) |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和1年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|-------|----|
| 直接事業費 | 100 | 102 | 109 | 112 | |
| 人件費 | 75 | 382 | 1,691 | 2,744 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 175 | 484 | 1,800 | 2,856 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年度 | 指標の説明 |
|-------|-------------|------|------|------|-----|------------------------|
| 01 | 役員と支部との合同研修 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7支部順番に役員と合同研修会を開催している。 |
| 02 | 役員会 | 3 | 4 | 4 | 4 | 毎年3~4回開催 |
| 03 | 調査員数 | 265 | 262 | 258 | 256 | 毎年4月1日を基準日とする。 |

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

運営費の補助により、研修会を充実させ、会員の資質向上を図っている。調査に非協力的な世帯が増えている中、統計調査の円滑な実施を図ることにつながっている。

問題点・課題等

会員の減少と高齢化が課題。調査への協力が得られにくくなっており、調査員業務の厳しさから成り手がいない。長年従事してきた方が辞めると、そのまま減っていく傾向がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

国・県・市が実施する統計調査の実施のため、調査員の確保は必須である。調査員の資質向上が求められる。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了